

単元名 大事なことを考えて、あんないの手紙を書こう

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。
 (2) 相手や目的を意識して、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくって文章の構成を考えることができる。
 (3) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にし、丁寧な言葉を使って行事を案内する手紙を書こうとする。

標準的な展開例

03010112_001

【教材名】気持ちをこめて「来てください」 (上 P. 60～P. 63)

【準備等】知多の友、手紙の清書用紙（縦書き）、封筒（縦書き）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。 ★大事なことを考えて、案内の手紙を書こう。 ○手紙をもらった経験を想起させ、手紙のよさについて話し合う。 ○教科書(P. 60)を読んで、学習課題と学習の進め方をつかむ。 ○運動会や授業参観など見に来てほしい行事や、手紙を送りたい相手について話し合い、学習の計画を立てる。</p> <p>2 手紙を送る相手を決め、伝える内容について考える。 ★相手を決め、伝えることを考えよう。 ○手紙を送る相手を決める。</p> <p>○伝える内容について確かめる。 ・日時 ・場所 ・行事の説明 ・気持ち など</p> <p>3 伝えることをメモに整理する。 ★伝えることを整理しよう。 ○手紙に必要な内容を知多の友(P. 5)に書き出す。</p> <p>4～5 手紙の組み立てについて確かめ、組み立てに沿って手紙を書く。 ★組み立てを確かめて書こう。 ○教科書(P. 62)「森川さんの手紙」を読んで、手紙の組み立てについて知る。 ○組み立てに沿って手紙の下書きをする。</p> <p>○声に出して読み、推敲する。 ・丁寧な言葉か。 ・正しく読みやすい字か。</p> <p>○下書きに沿って清書する。</p> <p>6 手紙を出し、学習を振り返る。 ○住所と宛名の書き方を知る。</p> <p>○封筒に宛名を書き、手紙を出す。</p> <p>○知多の友(P. 10)で、学習の振り返りをする。</p>	<p>・本単元は「知多の友」に掲載されているので十分に活用したい。</p> <p>・知多の友(P. 4)の学習の手順を読み、見通しをもたせる。 ・保護者や地域の人を学校に招く行事に合わせて、学習を進めるとよい。</p> <p>・これまでに世話になった人を具体的に思い出させ、招待の手紙を書く場面を設定するとよい。</p> <p>・教科書(P. 61)「森川さんのメモ」を参考にし、て書かせる。</p> <p>・知多の友(P. 9)で手紙の組み立てについて確認させる。 ・知多の友(P. 6)を活用する。 ・知多の友(P. 11)「きせつのあいさつ例文」を参考にするとよい。 【評】手紙の組み立てに沿って書く活動を通して、伝えたいことを明確にする「思考・判断・表現」を評価する。 ・文末表現を確かめたり、文字の間違いを正したりする。 ・クラスの実態に合わせ、ペアやグループで行ってもよい。 【評】推敲する活動を通して、丁寧な言葉遣いや敬体で書く「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書(P. 137)「あて名の書き方」を参考にさせる。 ・知多の友(P. 8)で練習させる。 ・住所などが書けるように、あらかじめ準備をさせておくとうい。 ・郵送するかどうかは、学級の実態に合わせて行う。</p>

【 備 考 】